

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 理事会議事(抄)録

日 時：平成 24 年 11 月 25 日(日) 正午～午後 1 時 30 分

場 所：かながわ県民センター R604

出席理事：斎藤・片山・鈴木・川畑・日暮・半田・木村・日置（欠席：松永・小野）

出席監事：薄井・宇田川

出席顧問：なし（欠席：野村・鈴木）

冒頭、議長は斎藤会長が、議事録作成係は日置事務局長がそれぞれ務める旨の確認がなされた後、議長の進行により議事が開始した。

<議 題>

1. 会員の事故発生時の補償対策について(報告)

日置事務局長より、市からの要請前に通信活動等を行った会員に事故が発生した場合の補償対策に関するこれまでの経緯について、報告があった。

(詳細内容を確認されたい方は、広報担当・HP 管理理事までご連絡下さい。本会会員に限り個別に開示の対応と致します。)

2. 九都県市合同防災訓練・横浜防災フェアへの参加について(報告)

(1) 斎藤会長より、9月1日に開催された九都県市合同防災訓練について、以下の通り報告があった。

- ・ 10月16日に主催者からお礼の手紙を受領した。
- ・ 次回の参加について確認の問合せがあり、参加すると回答した。また、次回に向けての要望についても問合せがあり、パネル等の作成費用の負担と本訓練報告書への当協力会の写真掲載をお願いした。

なお、パネルについては、協議の結果、統一した物を作ることで検討することとなった。

(2) 片山副会長より、8月25・26日に開催された横浜防災フェアについて、以下の通り報告があった。

- ・ 来場者は、会場の関係もあり観光がてらの人が多く、防災に熱心な人は多くないと見受けられた。
- ・ 今回参加した磯子区メンバーから、次回は、何ヶ所かにメンバーを配置してラリー形式の通信をしてみてもどうかとの提案があった。

なお、横浜防災フェアの担当支部については、近年不規則な持ち回りとなっていることから、協議の結果、新たに順番表を作成して、次回以降は基本的にその順番で各支部に担当してもらうこととなった。

3. 市役所・区役所間電波伝搬状況の調査について(報告)

木村理事より、10月10日(水)の調査は11区が、11月10日(土)の調査は7区が参加した、昨年の訓練も含めて保土谷区は一度も参加していない、各区からの信号強度はカスカスカ、かなり強いかのどちらかで、中程度の所はほとんどない、との報告があった。

協議の結果、本調査結果に対する今後の対応・対策については、担当の木村理事を中心にして検討することとなった。

4. 来年度総会の開催予定日について(審議)

日置事務局長より、来年度総会の会場(市民防災センター研修室)を早目に予約して押さえないので、開催予定日を当理事会で決めたいとの提案があり、協議の結果、第一候補は5/26(日)、第二候補は5/12(日)、第三候補は5/19(日)とし、日置事務局長から市役所危機管理室に同研修室の予約をお願いすることとなった。

5. 合同意見交換会の開催について(審議)

半田理事より、本日の理事会および支部長会の終了後、予てより懸案となっていた理事会メンバーおよび支部長会メンバーの合同による初めての意見交換会を開催することで案内を出しているとの説明があり、協議の結果、今回は、本部役員と支部長がより一体となって活動できる体制作りなどを話題の中心として両メンバー間で意見交換をすることとなった。

以上